

湘南白百合学園中学・高等学校

担当教諭：石原 寛子

対象生徒：中学3年生 総合学習（173名）

実施期間：2021年9月～12月
2単位

【1. 湘南白百合学園中学・高等学校の概要】

本校はキリスト教（カトリック）の精神に基づいて中高一貫教育を行う、神奈川県私立女子校で、今年度創立85周年を迎える。コース制は設けず自然学級で1学年4クラス・全24クラスの構成となっている。

「愛ある人として」を学校ミッションに掲げ、国際的な視野を持って人類社会に貢献できる女性の育成を目標としている。より良い社会の実現のために、自らよく考え、適切に判断し、責任を持って行動できることを目指し、そのような力を育てようと、「総合的な学習の時間」が教科化される以前の、20年ほど前から探究学習を導入している。

【2. 実施学年・クラス】

中学3年生・4クラス（173名）

【3. 実施授業】

総合的な学習の時間 2単位

【4. 授業の目的】

身近な環境問題を焦点化して研究テーマを設定し、自身で立案した実験も含めた情報収集を通して、問題を多角的に分析する。得られた成果を分かりやすくまとめる過程で、自分の生活を見直そうとしたり、プレゼンテーションを通じて、他者により良い生活のあり方を提案するなど、研究を机上のものに終わらせず、すべての人が平和と豊かさを享受できる世界の実現に繋げることを目的とする。

【5. 年間計画】

4・5月

先行研究調査

基調講演

6月

研究テーマ決定

仮説設定

考察

実験計画

7～10月

結果の整理

実験

11月～

成果発表・アブストラクト作成



【6. AFP World Academic Archive 授業実施期間】

2021年9月30日～2021年12月2日

【7. 授業開催時期と内容】

すでに各生徒がテーマ設定と、仮説検証のための実験を終えた段階で、AFP World Academic Archiveをはじめとする教材を使用した。

- ① 個人で、自身の研究テーマに関連する項目を、AFPのリソースを使ってリサーチを行う。（9月30日）
- ② 類似した研究テーマのグループごとに、『やさしい英語でSDGs！』（Goal 12～15）を見てディスカッション。（10月7日）
- ③ AFP World Academic Archiveを使用し、Googleスライドで研究発表用のスライドを作成（10月21日・11月4日）
- ④ 完成したスライドを用いて、一人5分間のプレゼンテーションを実施（11月18日・25日・12月2日）
- ⑤ 『やさしい英語でSDGs！』からの気づきを共有し、英語でのアブストラクトを作成する（22年1月末～2月予定）

【8. プレゼンテーションへの評価】

- 内容：提示資料の適切さ、理解の正確さ、エビデンスの有無、論理性等
- 発表：準備や練習、聴衆とのインタラクション、制限時間の厳守等
- スライド：内容のわかりやすさ、効果等

上記を項目をルーズブリック化し、それをもとに三人の理科教員が評価すると共に、聴衆であるクラスメイトがGoogleフォームを使って、発表が終わる度に、その場で発表者に対して評価を行った。



生徒のプレゼンテーションより一例
「海洋プラスチックの根源」という研究テーマの設定理由で、AFP World Academic Archiveより資料引用を行っている

【9. 使用した生徒・教員の感想と今後の課題】

(1) AFP World Academic Archiveを利用した生徒の感想

- 調べていく過程で、知らなかった環境問題についての英単語に触れることができ、新たな知識を得ることができたのが良かった。
- 検索方法が簡単で使いやすく、インパクトのある写真が揃っているところが利点だと感じた。
- 環境やその他様々な知識を得られるような画像の種類が多くあり、使っていて興味深かった。ただ、一つの項目（exプラスチック問題など）に関する写真の種類が少なかったので、更に増えるともっと多く取り入れることができると思った。
- 一つのことについて調べると、それに付随して検索結果が沢山出てくることで、周辺情報についても知識が増えるので、環境問題についてさらに調べたい気持ちになった。

(2) AFP World Academic Archiveを使用して指導した感想や課題

- 例年と比較して、テーマ設定理由のスライドがよくまとまっているものが多い。これまでは検索して一般の著作権フリー画像から利用できるものを探してきていたため、内容と画像が一致せず、ちぐはぐな印象を与えるものが多かった。しかし、**AFP World Academic Archive**が利用できたことで、臨場感あふれる多様な写真の中から、生徒自身が伝えたい目的に合ったものを自分の言葉に合わせて選べており、「表現力」や「情報収集」の観点で、高い評価をつけることになった。
- 生徒にとっては、実験が終了して、その内容をまとめるスライドを作成する段階での利用となったため、画像使用目的が絞られてしまった。そのため、検索する段階でかなり具体的な用語を設定しているケースがあり、逆に目的のものが見つからない、という声も聞かれた。（例えば、二酸化炭素濃度、と英語で検索しても適当な画像は見つからず、そこであきらめてしまうなど）どのように検索すると良いのか、ということにもう少しレクチャーの時間を割いた後に使用をすれば、より良い利用をさらに進められたのではないかと感じた。
- 生徒の感想からも、検索しながら出てくる画像をきっかけにさらに調べる内容を広げることができた様子がうかがえる。年間を通じて使用が可能な場合は、最初の調べ学習の段階から使わせて、検索しながら視野を広めてテーマ設定の補助に使えると考えている。